

社報

高縄

平成 27 年 11 月号

発行所
〒799-2441
愛媛県松山市宮内甲 102 番地
高縄神社社務所

十一月二十三日は感謝の日

十一月二十三日は新嘗祭の日でした。

戦後その祝祭日が廃され、昭和二十三年、新たに制定された国民の祝日として、もとは新嘗祭とされていた十一月二十三日が、勤労感謝の日となり、現在に至っています。

新嘗祭は、宮中に於かせられて新穀（御初穂）を、天皇様が御みずから神々に御すすめになり、また親しくこれを御召し上がりになるという祭儀です。この日、全国の神社でも大祭として祭典を行うよう神社本庁の『神社祭祀規程』の第二条に規定されています。

高縄神社でも、例年どおり

十一月二十三日（月曜日）

午後三時から、

新嘗祭（新穀感謝祭）と神宮大麻頒布始祭とを併せ斎行します。

これに先立ち、氏子の皆様には、従来通り、御初穂（今年の新米・

新穀または現金）の献納をお願い

します。区（部落自治会）の協

議員様たちが当日

までに集めて下さり、神前に奉納



七五三まいりを、

氏神様で！

高縄神社では、

氏子の幼児

たちの無事

成長を祝う七五三の祈願祭を

十一月十五日に行います。

午前七時が恒例の祭典ですが、そのあと

午前八時三十分から

午後五時までの間、

個々に受付けをし、神社の公式な祭儀としての御祈禱を、宮司と禰宜とで奉仕します。

対象となる御子様は、

男子、三歳と五歳

女子、三歳と七歳

が当たり年です。

当日、おこしになられる場合、前もっての

ご連絡は要りません。神社に受付の担当者が

いますので、来てから御祈禱の申込みをして

下されば、即、対応します。

なお、当日（十一月十五日）以外の日に、

御祈禱を希望なさる場合は、従来のように、

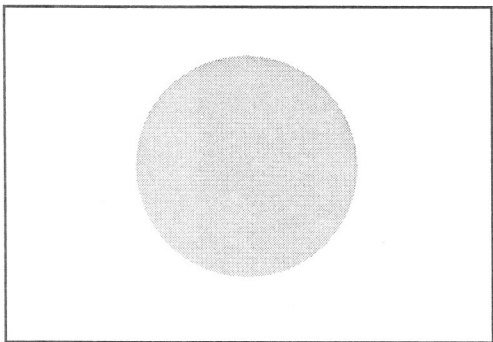
個々の神職で対応させていただきます。その

場合、必ず前もってご連絡をお願いします。

△連絡先（電話）▽

089-992-0842 宮司 玉井利明

089-992-1480 禰宜 正岡重則



祝日には国旗を掲げましょう

感謝と崇敬のこころは、清浄であり光明です。それは吉祥とよろこびをもたらしめます。

我欲や嫉みは、穢れであり、暗く汚く厄災に直結します。

感謝と崇敬のこころは、神様に御初穂を捧げることで形になります。



おまつり、よかった！

今年の秋祭、無事に終えることが出来ました。



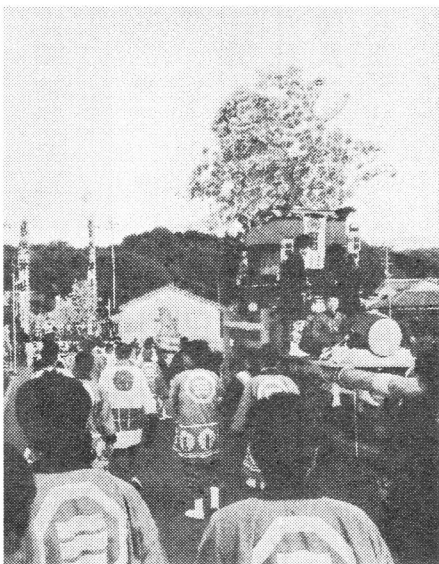
市神楽（いちちかぐら）の巫女は
武智彩恵さん／菊野愛莉さん／田中愛唯さん
いずれもあい幼稚園の園児たち。



十日の例大祭は高縄神社で、十一日の神幸祭は早朝の宮出しと共に供奉（ぐぶ）をして、府中・柳原・夏目・善応寺・横谷・別府と、6箇所のお旅所で神楽奉奏しました。幼児にとって、大変なハード・スケジュールだった筈ですが、一人も休むことなく交替もせず、楽しみながら、みごと舞い納めました。



大みこしは、今年は部落渡りで渡御しました。区（部落）の境で人の手から人の手へと受け継ぎ、トラックに載せることは、あまりなかったそうです。



氏子の皆様、関係者の皆様のご協力に、深甚の感謝を致しますと共に、篤く御礼を申し上げます。